

ハートマークだより



マークの由来

医療関連サービスには、高い技術の裏付けとともにそれを提供する人々の真心や愛情が必要です。この医療関連サービスマークは、2つのハートによってより良きサービスを築き上げていくために医療機関と医療関連サービス事業者がお互いの心を通い合わせていることを意味し、3つの丸印によって国民がそのサービスに支えられていることを表現しています。

2020.11
NO.18

◆ 2020.10 認定審査における主な改善指導事項について

1. 認定概況

今回は、申請件数(新規)498(20)件のうち、認定は497(20)件、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため認定延長が20件、九州豪雨災害のため認定延長が1件、非認定が1件でした。

認定の内訳は、完全適合330(8)件、改善指導事項付155(10)件、条件付12(2)件、となりました。

完全適合とは、改善指導事項が付されなかった認定をいい、改善指導事項付(条件付きを含む)とは、評価項目中に下位評価項目が付されたものです。

※申請件数には前回の新型コロナウイルス感染症感染拡大のために延長及び延期件数含

2. 主な改善指導事項

(1) 全業務共通

従事者研修体制

(研修体制未整備、
初任者・現任者カリキュラム未作成、
研修項目の欠落、
改善見直し検討の未実施・記録未作成)

初任者・現任者研修体制

(初任者・現任者研修の受講者欠落、
研修記録未作成、研修記録未保管、
修得状況評価の未実施)

健康管理体制

(健康管理未整備、

雇い入れ時健康診断・定期健康診断の
受診者欠落、産業医の未専任、
健康診断実施後の措置不適正)

自己評価実施体制

(自己評価未実施、評価記録の未作成、
評価改善検討未実施・検討結果の未作成)

(2) 業務別

① 在宅酸素療法における酸素供給装置の保守 点検業務

酸素の濃縮装置の標準作業書

(定期見直し未実施)

酸素ボンベの標準作業書

(定期見直し未実施、未整備)

緊急・災害対応体制

(マニュアル(一部項目漏れ)・教育・訓練の
未実施)

② 院外滅菌消毒業務

滅菌業務作業日誌

(項目漏れ)

③寝具類選択業務

衛生管理

(不適)

④患者等給食業務

調理等点検体制

(調理後取扱い不備、点検表未作成)

⑤院内清掃業務

病院との連絡体制

(記録未作成)

ストレスチェック体制

(未整備)

業務案内書

(定期見直し未実施)

標準作業書

(定期見直し未実施)

日常清掃業務以外(再委託)業務対応体制

(契約書不備、業務報告書未作成)

苦情対応体制

(マニュアル項目不十分)

受託責任者作業計画指導監督体制

(評価改善指導実施頻度不足、記録未作成)

日常清掃定期点検評価等体制

(評価記録未作成、未整備)

定期清掃定期点検評価等体制

(評価記録未作成、未整備)

作業計画書

(未整備)

清掃用具消毒等管理体制

(洗浄等定め未制定)

薬品使用管理体制

(消毒薬使用記録未作成、

希釈指示記録未作成、使用者の定め未制定、

施錠管理不適正)

⑥院内滅菌消毒業務

交差感染防止体制

(ルート図面未作成)

医療関連サービスマークの認定について (令和2年10月1日認定分)

業務区分	申請件数		認定			延長 (認定)	非認定	認定有効事業者等 の総数 [参考]						
			完全適合	改善指導付等	計									
在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務	24	(0)	16	(0)	8	(0)	24	(0)	1	(0)	0	(0)	193	(196)
院外滅菌消毒業務 (※)	8	(1)	4	(0)	4	(1)	8	(1)	2	(0)	0	(0)	49	(49)
寝具類洗濯業務 (※)	54	(1)	40	(0)	14	(1)	54	(1)	3	(0)	0	(0)	251	(251)
患者等給食業務	25	(4)	20	(2)	5	(2)	25	(4)	6	(0)	0	(0)	180	(176)
衛生検査所業務 (※)	20	(0)	18	(0)	2	(0)	20	(0)	1	(0)	0	(0)	120	(121)
患者搬送業務	1	(0)	1	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	3	(3)
院内清掃業務	327	(11)	200	(4)	126	(7)	326	(11)	8	(0)	1	(0)	1,434	(1,445)
医療用ガス供給設備の保守点検業務	33	(0)	28	(0)	5	(0)	33	(0)	0	(0)	0	(0)	252	(253)
医療機器の保守点検業務	2	(1)	2	(1)	0	(0)	2	(1)	0	(0)	0	(0)	6	(5)
院内滅菌消毒業務	4	(2)	1	(1)	3	(1)	4	(2)	0	(0)	0	(0)	36	(35)
計	498	(20)	330	(8)	167	(12)	497	(20)	21	(0)	1	(0)	2,524	(2,534)

注1: 左記表の数値は、事業者数(但し、(※)の業務は施設数)

注2: 左記表の()内は新規再掲

注3: 認定有効事業者等の総数[参考]欄の()内数字は令和2年6月1日付認定有効数

◆ 「Good Job! コーナー」 「こんなに頑張ってます！」

エア・ウォーター・メディエイチ株式会社
取締役 市場開発本部長 石河 伸二



弊社は、平成28年4月、SPD事業で四半世紀にわたる実績を持つヘルスケアテック株式会社と、エア・ウォーターグループの滅菌事業を集約し設立されたエア・ウォーター・メディエス株式会社が統合されて誕生しました。長年培ったノウハウをもとに、医療材料・医薬品等のSPD事業と医療器材の滅菌事業、清潔環境管理事業、病院内アメニティサービス事業を全国の医療機関向けに行う総合ホスピタルサービス企業です。

SPDと滅菌の両サービスを院内と院外センターから提供できる体制を整備した会社は極めて少なく、医療機関へはSPDと滅菌を融合させた提案を行うとともに、近年では手術器材の院外滅菌を行うサテライト滅菌センターを設立し、より高度化する医療機関向けの新たなサービスを開始しています。

現在、院内滅菌消毒業務・院外滅菌消毒業務・院内清掃業務の医療関連サービスマーク認定を取得していますが、これらの業務は医療安全や感染管理に大きく関わるものであり、特に手術関連業務は高度な専門知識と管理が要求されるため、スタッフ教育、アクシデント・インシデントの管理体制において日々改善を重ねています。

その取り組みとして、スタッフ教育では研修計画の指標となる習熟度チェック表やスキルマップの作成、メーカーによる勉強会に加え、管理職・管理職候補者を対象とした外部人事研修コンサルタントによる年間研修を実施しています。また、品質管理の専門部署を設置し、アクシデント・インシデント報告の情報集約・分析・発信を行うことで、発生現場だけの対応に留めず、他施設での同事象の発生防止体制の構築を進めています。

今後も、認定事業者として医療機関へのきめ細やかで安全なサービスを提供するとともに、医療機関の多様なニーズにお応えできる新たなサービスモデルの創出を図ってまいります。

◆ 医療現場からの声

社会福祉法人同愛記念病院財団
同愛記念病院 事務部長 三井 光義



当院は、1923年9月の関東大震災の後に、アメリカ合衆国国民からの義捐金の一部で被災地域の救援を行う病院として1929年に設立されました。戦後約10年間の連合軍の接収を経て、1956年に社会福祉法人同愛記念病院財団同愛記念病院として診療を再開いたしました。

現在の病院は、24の診療科を持つ403床の急性期病院（東京都指定二次救急医療機関）です。地域の要請をふまえ地区の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献することを理念に掲げ、目指す病院の方向は、患者、住民、地域医療機関等から信頼され、選ばれる病院であること、そして専門性の高い医療の提供を追求しております。

診療内容について一部紹介いたします。泌尿器科はロボット支援手術による前立腺手術や腎がんの手術を行っており、尿路結石でも多数の症例を

治療しております。整形外科は肩関節・股関節・膝関節の手術を多数手掛けており広い地域からの紹介患者を受け入れております。

さらに2022年の完成を目指し、新棟（12階建）を建設中です。病棟と手術室が新しくなり、その後診療棟改修、外構整備を経て2023年には新病院としてグランドオープンを予定しております。

こうした現在の病院運営、医療提供体制の維持継続、新病院での良質な医療展開を行うためには、医師、看護師等の職員と医療関連サービスを提供する良きパートナーである事業者の皆様が一体となって医療を行うことが肝要であります。2020年は、新型コロナウイルス感染症の未知なウイルスの突然なる襲撃により社会全体がそして医療機関が大きな禍に陥りました。社会全体が新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者に感謝・応援する声が続々届いております。この従事者には当然皆様も含まれています。感染の拡大がまだ続いており終息までには時間がかかりそうですが社会から求められている医療の提供に皆様と一丸となってしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

トピックス

●「第30回シンポジウム(30周年記念)」を開催します／(一財)医療関連サービス振興会

1. 主旨および目的

テーマ 「新しい生活様式」を支える医療のあり方と医療関連サービス事業の役割

2. 開催主旨および目的

世界的な大流行となっている新型コロナウイルス感染症は、再度感染が拡大する可能性があり、長丁場での対応が予想されます。そのため、次なる波に備えて、「3密」の回避等の基本的な感染症対策を継続するとともに、「新しい生活様式」への行動変容が求められます。

また、今後の政策としては、感染が拡大する局面も見据え、これまでの取り組みや経験を踏まえ、検査体制、医療提供体制等の更なる強化を図ることが必要です。

本シンポジウムでは、今求められている「新しい生活様式」を支える医療のあり方を展望するとともに、治療薬・ワクチン等の開発、財政面、法制度の整備に向けた課題、また、医療関連サービス事業の役割について考察します。

3. 開催日時

令和3年2月5日(金)13時～16時30分

4. 開催会場/場所

サントリーホール(ブルーローズ)/東京都港区赤坂1-13-1

5. 定員

会場参加者数100名(オンライン配信もします)

*詳細は12月日途に当会HPに掲載します(<https://ikss.net/>)

今後のスケジュール等

〈令和2年11月〉

22日(金) 第266回月例セミナー

テーマ:「新型コロナウイルス感染症の
流行長期化のもとで考える
BCPの策定と見直し」

講師: 本田 茂樹 氏
(ミネルヴァベリタス株式会社 顧問、
信州大学 特任教授)

会場: 日比谷コンベンションホール
(千代田区立日比谷図書文化館内)

点検業務、院内清掃業務、院外滅菌消毒
業務、院内滅菌消毒業務、患者搬送業務、
医療機器保守点検業務

医療関連サービスマーク認定審査委員会開催日
(令和3年2月1日認定分)

8日(金)衛生検査所調査指導中央委員会
(審議事項: 第79回認定基本審査)

14日(木)患者等給食部会
(審議事項: 第84回認定審査
(院内調理患者等給食)
第1回認定審査
(院外調理患者等給食))

医療用ガス供給設備の保守点検部会
(審議事項: 第78回認定審査)

15日(金)在宅酸素供給装置の保守点検部会
(審議事項: 第92回認定審査)

衛生検査所専門部会
(審議事項: 第79回認定審査)

20日(水)寝具類洗濯部会
(審議事項: 第90回認定審査)

滅菌消毒部会
(審議事項: 第83回認定審査
(院外滅菌消毒)
第42回認定審査
(院内滅菌消毒))

〈令和2年12月〉

24日(木) 第267回月例セミナー

テーマ:「未定」
講師: 菅原 えりさ 氏
(東京医療保健大学大学院医療保健学
研究科 感染制御学 教授)

西川 美由紀 氏
(日本赤十字社医療センター
感染対策室 看護師)

会場: 日比谷コンベンションホール
(千代田区立日比谷図書文化館内)

20日(水)寝具類洗濯部会
(審議事項: 第90回認定審査)

滅菌消毒部会
(審議事項: 第83回認定審査
(院外滅菌消毒)
第42回認定審査
(院内滅菌消毒))

〈令和3年1月〉

医療関連サービスマーク認定の申請書類受付
(令和3年6月1日認定分)

4日(月)～18日(月)衛生検査所業務

15日(金)～29日(金)在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務、寝具類洗濯業務、院内調理患者等給食業務、院外調理患者等給食業務、医療用ガス供給設備の保守

21日(木)院内清掃部会
(審議事項: 第80回認定審査)

27日(水)評価制度認定委員会
(審議事項: 医療関連サービスマーク
認定に係る審査)

* 第268回月例セミナー: 日程等調整中

ハートマークだより

発行: 一般財団法人医療関連サービス振興会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-11-11 第二フナトビル 3F

TEL: 03-3238-1861 FAX: 03-3238-1865

URL: <https://ikss.net/>